

衆議院外務委員会ニュース

平成 25. 6. 12 第 183 回国会第 9 号

6 月 12 日（水）、第 9 回の委員会が開かれました。

- 1 投資の促進及び保護に関する日本国政府とパプアニューギニア独立国政府との間の協定の締結について承認を求めるの件（条約第 8 号）
投資の自由化、促進及び保護に関する日本国とコロンビア共和国との間の協定の締結について承認を求めるの件（条約第 9 号）
投資の促進及び保護に関する日本国とクウェート国との間の協定の締結について承認を求めるの件（条約第 10 号）
投資の促進、円滑化及び保護に関する日本国政府、大韓民国政府及び中華人民共和国政府の間の協定の締結について承認を求めるの件（条約第 11 号）
投資の促進及び保護に関する日本国とイラク共和国との間の協定の締結について承認を求めるの件（条約第 12 号）
社会保障に関する日本国とインド共和国との間の協定の締結について承認を求めるの件（条約第 13 号）
- ・岸田外務大臣から提案理由の説明を聴取しました。
 - ・岸田外務大臣、あべ外務大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行いました。

（質疑者及び主な質疑内容）

牧原 秀樹君（自民）

- ・投資協定の締結相手国については、これまで空白となっている地域や、ブラジル、アルゼンチンなど人口規模が大きく潜在成長能力の高い国との協定締結を優先的に進めるべきではないか。
- ・投資協定の投資家対国の紛争解決手続に関する規定にも WTO の紛争解決手続のような上訴審を導入するよう提案すべきではないか。
- ・仲裁において敗訴した国が裁定を実行しない場合にどのような対応を取りうるかについて予めシミュレーションをしておくべきではないか。

岡本 三成君（公明）

- ・今月行われた米中首脳会談に関する岸田外務大臣の所見を伺いたい。
- ・投資協定を多数締結しているにもかかわらず、我が国の対外・対内直接投資額が諸外国と比べ少額であることに

ついて、岸田外務大臣はどのような見解を持っているか。

- ・我が国及びアフリカ諸国双方が利益を得られる支援を実現するため、今後、我が国政府はどのように取り組んでいくつもりか。

浦野 靖人君（維新）

- ・基礎教育をテーマとする世界規模のイベント「世界一大きな授業」の取組を受けて、我が国の ODA においても基礎教育支援がより重視されるよう努力すべきではないか。
- ・在日米陸軍司令官更迭につながった在日米軍佐世保基地所属の米兵による女性暴行事件について、米軍に対して外交ルートを通じた正式な報告を求めるべきではないか。
- ・途上国に対する人材育成支援として、アフリカからの留学生をより積極的に受け入れるべきではないか。

2 国際情勢に関する件

- ・岸田外務大臣及び政府参考人並びに参考人に対し質疑を行いました。
（参考人）株式会社国際協力銀行代表取締役副総裁 渡辺 博 史君

（質疑者及び主な質疑内容）

山口 壯君（民主）

- ・渡辺国際協力銀行副総裁は中国が米国債を売却する可能性に言及した発言を行っているが、その根拠は何か。ま

た、財務官経験者でもある副総裁によるこのような発言が国際金融に与える影響についてどのように認識しているのか。

- ・米中韓が関係緊密化に動いている中、政府はいわゆる中

国包囲網のような外交政策を改め、閣僚レベルで中国側に対話を積極的に働きかけていくべきではないか。

- ・ G 8 サミットで紛争時における女性の人権が議題になると見込まれているため、日本政府として、女性の人権が守られるよう積極的に取り組んでいくべきではないか。

笠 井 亮君（共産）

- ・ 防衛省が2008年に実施した、普天間飛行場移設に伴う埋立工事に関する資材調達調査業務及び資材調達検討業務

の目的、業務受託者及び委託料について伺いたい。

- ・ 輸入埋立資材の検疫上の取扱いはどのようになっているのか。
- ・ 埋立による生態系の変化への懸念など沖縄県民の感情を無視した辺野古への普天間飛行場移設を強行することについて、岸田外務大臣の見解を伺いたい。